

問 脱炭素事業は地球温暖化対策の重要な取り組みです。エネルギーの地産地消も含め事業の目的と進み具合は。今後は防災のように住民と一緒に町全体で取り組んでいく事が求められるのでは。

脱炭素事業

エネルギーの地産地消を 町全体を脱炭素化していく



みやじ ようこ
宮地 葉子 議員

答 宮川環境政策室長
この事業は令和5年に国に採択され、有利な交付金を活用しながら進めている。

事業の目的は、世界的な課題を日本全体で取り組む温室効果ガスの排出削減によるカーボンニュートラルを目指すことです。

現在は災害時などにエネルギー利用が可能となるよう、避難所としての公共施設を中心に太陽光発電設備や蓄電池の導入を進めている。住民の方には太陽光発電設備・省エネ家電設置に3分の2の補助を実施し、町全体を脱炭素化していく計画としている。

また、地域新電力会社

「くろしおエナジー」を主

体に導入した再生可能工

ネルギーを最大限活用し、

町内に電気を供給できる

よう努めエネルギーの地

産地消を目指す。そうす

ることで外に流出してい

たエネルギー経費の一部

が町内に留まり、地域経

済活性化にも寄与すると

考えている。

脱炭素化は地球規模で

取り組むべき重要な課題

だと認識している。

が町内に留まり、地域経

済活性化にも寄与すると

考えている。

脱炭素化は地球規模で